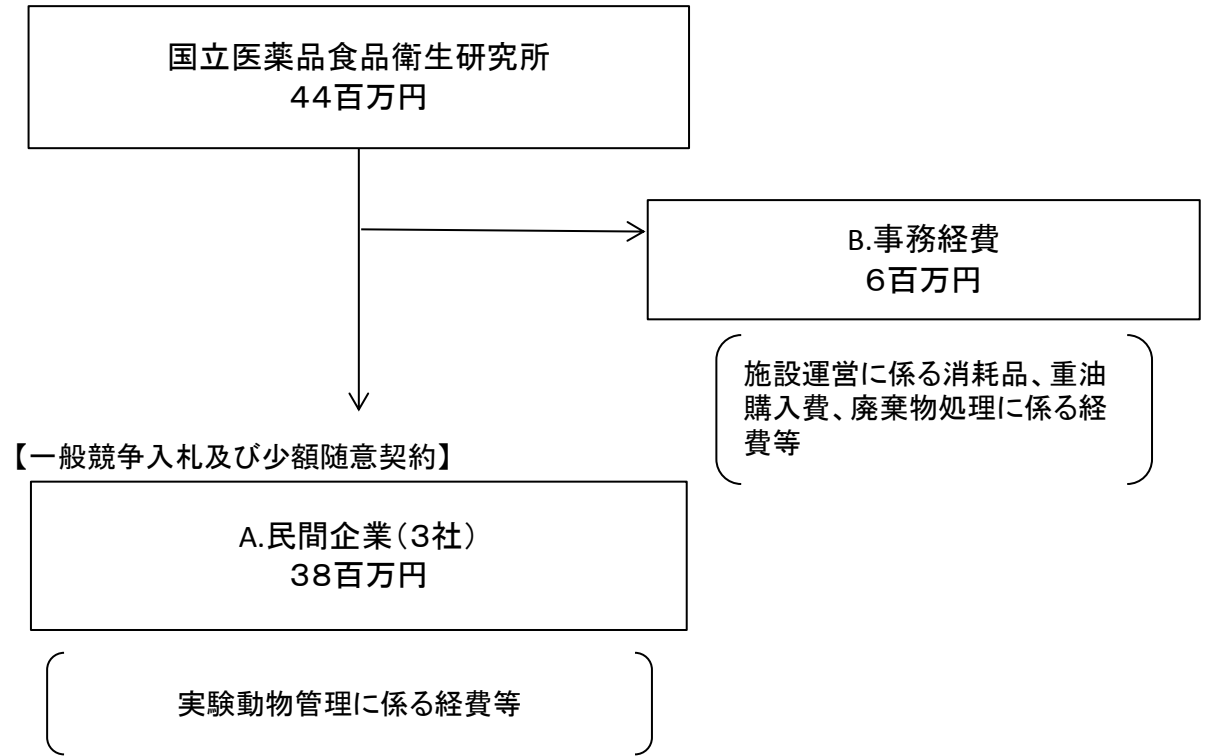


平成25年行政事業レビューシート

事業名	安全性生物試験研究センター運営費		担当部局庁	国立医薬品食品衛生研究所		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和52年度		担当課室	総務部 会計課		岡村 真一	
会計区分	一般会計		政策・施策名	XI-1-1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医薬品、食品、食品添加物及び生活関連化学物質の安全性・有効性を確保するための試験・研究に必要な動物実験を円滑に実施するため、実験動物の飼育管理を行っている安全性試験研究センターの適正な維持・管理を行うことを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	安全性生物試験研究センターでは、「厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する指針」等に準拠した動物実験を行っており、本事業では動物実験が円滑に実施できるようセンターにおける動物飼育室の空調管理及び「動物の愛護および管理に関する法律」等に準拠した各種実験動物の飼育管理等を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	48	47	44	40	40
		補正予算					
		繰越し等					
	計	48	47	44	40	40	
	執行額	48	47	44			
執行率(%)	100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (28年度)
	安全性生物試験研究センターの運営に係る経費であるため、定量的な成果目標を設定することはできない。			成果実績	%	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	安全性生物試験研究センターの運営に係る経費であるため、定量的な成果目標を設定することはできない。			活動実績 (当初見込み)	-	-	-
				-	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	-		算出根拠	-			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	庁費	40	40				
	計	40	40				

事業所管部局による点検					
	項 目		評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国民の健康安全等を確保するために必要な研究を行うための実験動物の管理を行っており広く国民のニーズがあり、国費の投入が必要である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国の試験研究機関である当所において実験に用いる動物の飼育管理等を行うため、国で実施することが適当である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	国民の健康安全等を確保するために必要な研究を行うための実験動物の管理を行っており優先度が高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	少額随意契約の対象金額を超える案件については、一般競争入札を実施し、競争性を確保した。また、随意契約の場合であっても複数者から見積を徴収し、最廉価格の者と契約を締結した。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	真に必要な経費のみ支出している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	センターを適切に維持管理したことにより、医薬品、食品、食添加物及び生活関連化学物質の安全性の評価に必要な動物実験を実施することができた。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	-	-	-		
点検結果	・執行管理表により支出先及び使途等について管理を行い、適切な経費の執行に努めている。				
	外部有識者の所見				
外部有識者による点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	本事業は、試験研究に必要な安全性試験研究センターの適正な維持・管理に要する経費であり、本事業の必要性及び執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	581	平成23年	468	平成24年	468

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.三協ラボサービス(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	実験動物飼育管理業務に係る経費	34			
計		34	計		0
B.(株)内藤			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	施設運営に係る重油購入費	2			
計		2	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三協ラボサービス(株)	実験動物飼育管理業務に係る経費	34	2	92.89%
2	日本美装(株)	動物飼育室設備保守点検業務に係る経費	2	3	62.80%
3	(株)日立ビルシステム	8号館施設整備に係る経費	2	随意契約	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)内藤	施設運営に係る重油購入費	2	随意契約	
2	日本ダスト(株)	廃棄備品機器処理等に係る経費	1.2	随意契約	
3	日本無機(株)	施設運営に係る消耗品購入費	0.9	随意契約	
4	(株)松田商店	施設運営に係る重油購入費	0.9	1	93.26%
5	東京化工(株)	施設運営に係る消耗品購入費	0.7	随意契約	
6	(株)エコ・エイト	廃棄物処理等に係る経費	0.2	3	73.10%
7	(株)リバース	実験動物死体処理に係る経費	0.2	随意契約	
8	東京電力(株)	施設運営に係る電気使用料	0.06		
9	(株)千代田テクノル	施設運営に係る放射線量検査料	0.04	1	86.37%
10					